



町長日誌 No.135

町長日誌の第135号です。町長が日頃町民の皆さんと話したしたことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

皆様、新しい年どのようにお過ごしでしょうか。今年も宜しくお願ひ致します。

1月19日(月) PM4:00

昨日、私用で紋別に向かうと、何と流氷で海が埋め尽くされているではありませんか！ 沙留から興部に掛けては海が開いているのですが紋別に近づくにつれ海面が見えず、やや厚めの流氷で真っ白な陸地の様になっています。聞けば、ガリンコ号の運行も始まったとの事ですから、流氷観光で訪れたお客様は大喜びの事だと思います。しかし、日差しは眩しいぐらいなのですが気温はグンと下がっており、日中でも気温の低いオホーツク特有の“しばれる”季節となりました。

さて、今年のお正月は、2日から4日にかけて-20度を超える寒い新年となりましたが、元旦から6日の仕事初めまで、除雪車・救急車の出動が一度も無くそれ以外のトラブルも無く、葬儀も無い本当に平穏な新年の幕開けとなりました。しかし、4日には成人式、5日から病院の診療開始、6日は役場が仕事始めそして出初式と恒例の行事が続きました。9日は札幌で道庁など関係のところに年始回りとバタバタしているうちに正月はあっという間に過ぎてしまいます。よく年輩の方が「いやあ～月日の経つのは早い！」と言う言葉を耳にして「そうかなあ～？」と、ついこの間まで思っていたのですが、今は自分もそう思っていることに苦笑いの毎日です。

26年12月29日(月)

今日は良い事が3つありました。

まず一つ目は、興部町の面積が増えた事です。「面積が増える？」と思われるかも知れませんが、実は、26年度から国土地理院の面積計測方法が変更されました。その結果、興部町の面積は $362.45 \text{ km}^2 \rightarrow 362.54 \text{ km}^2$ へと「0.09 km^2 」と僅かではありますが増えました。二つ目には、躍進を続ける(株)ニトリ似鳥昭雄社長様から500万円のふるさと納税がありました。ご存知の方も多いと思いますが、ニトリ社長夫人は興部町出身と言うご縁で、これまでにも桜や花づくりへの応援、昨年の夏祭りでは花火大会への協賛など沢山の応援を頂いているのですが、この度はふるさと納税と言う形で寄付を頂きました。本当に有り難い事で、心から感謝をしています。三つ目は、沙留漁業協同組合の横内組合長、加賀谷副組合長、富田専務が来庁され、今年も豊漁であった事から3千万円の寄付がありました。

漁獲量は前年よりも低くホタテの価格も前年ほどではなかったので、驚きましたが、組合長からは「水揚げ量は下回ったものの価格が総じて良かったので組合としての収益は前年同様になったので、町に寄付したい。」と嬉しいお話をありました。水産全体の発展のための基金として大切に使わせて頂きます。ありがとうございました。

27年1月18日(日)

今年で3回目となる商工会主催の「チーズとワインの夕べ」に出席しました。この催しは、町の特産品であるチーズやハム・ソーセージ、さらには水産物を使った料理が用意され、一人1000円で飲み放題と言う破格のイベントです。寒空の下、商工青年部が窯で焼いてくれたピザの味は格別ですし、女性部の皆さんのが手作りの料理も素晴らしいのです。勿論、お楽しみの抽選会もあり2時間があっという間に過ぎてしまいました。今回、私が特に嬉しかったことは、町内にある国や道の出先機関の長や職員の皆さんのが大勢ご参加いただき、まるで新年交礼会の様になつたことです。どうしても交礼会と言うと一定の役職の方ばかりになりがちですが、このイベントならいろんな立場の方たちが肩肘張らず、楽しく歓談できるので、町のオープンな「新年交礼会」としても続けてほしいと思いました。商工会の皆様ありがとうございました。

報道では、大雪の被害が毎日の様に取り上げられていますが、町内は今のところそんなに多い積雪量ではないようですが、気温が高めでつるつる路面になることが例年以上に多いようです。流氷が来れば、これも解消されるかも知れませんが、寒気と暖気が交互に来るようですから屋根の雪下ろし作業などにはくれぐれもご注意ください。さて、2月は冬のイベントの季節です。寒い冬もあと少しですから一杯楽しんでください。では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

